

II 目的

福井工業高等専門学校の使命

基本理念

- ・ 創造性豊かな人材を育成する。
- ・ 幅広い工学的素養，基礎能力および応用能力の育成を目指す実践教育を行う。
- ・ 高度に情報化した国際社会に対応する教育を行う。
- ・ 環境を意識し，地域社会に根ざしたものづくり教育を行う。
- ・ 地域と連携した産官学共同研究の推進を図る。

教育方針

- ・ 技術者として必要かつ十分な基礎力と専門技術を習得させる。
- ・ 個性を伸ばし，独創的能力の開発に努力する。
- ・ 教養の向上に努め，良識ある国際人としての成長を期する。
- ・ 健康の増進に努め，身体的精神的に強靱な耐久力を育成する。
- ・ 規律ある日常生活に徹し，明朗，闊達な資性の涵養を図る。

養成すべき人材像

優れた実践力と豊かな創造性を備え，国際社会で活躍できる技術者

学習・教育目標

1. 本科(準学士課程)

- RA 多様な文化や価値観を認識できる能力を身に付ける。
- RB 数学とその他の自然科学，および専門分野におけるものづくり，環境づくりに関する基礎能力を身に付ける。
- RC 技術者に必要なデザインマインドを身に付ける。
- RD 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける。
- RE 実践的能力と論理的思考能力を身に付ける。

2. 専攻科課程

- JA 地球的視点から多様な文化や価値観を認識できる能力を身に付ける。
- JB 数学とその他の自然科学，情報処理，および異なる技術分野を含む問題にも対処できる，ものづくり・環境づくりに関する能力を身に付ける。
- JC 技術者に求められる基礎的なデザイン能力を身に付ける。
- JD 国際社会で活躍する技術者に必要なコミュニケーション基礎能力を身に付ける。
- JE 実践的能力および論理的思考能力を総合的に身に付ける。

上記の学習・教育目標の下，一般科目教室および各学科の人材の育成に関する目的その他の教育上の目的を，以下のように設定している。

- (1) 一般科目教室は，高度な技術教育の基盤となる学力を身に付け，豊かな教養と知性を持つ社会人を育成する。

- (2) 機械工学科は、機械システムの開発・設計・生産の分野において、基礎的知識と技術を身に付け、論理的思考能力を備えた実践的で創造性豊かな技術者を育成する。
- (3) 電気電子工学科は、通信・エレクトロニクス、情報・制御、光・電子デバイス、エネルギー等の分野において、基礎的知識と技術を身に付け、論理的思考能力を備えた実践的で創造性豊かな技術者を育成する。
- (4) 電子情報工学科は、情報化社会の基盤となるソフトウェア、コンピュータネットワーク及びコンピュータ制御の分野において、基礎的知識と技術を身に付け、論理的思考能力を備えた実践的で創造性豊かな技術者を育成する。
- (5) 物質工学科は、材料工学あるいは生物工学の分野において、基礎的知識と技術を身に付け、論理的思考能力を備えた実践的で創造性豊かな技術者を育成する。
- (6) 環境都市工学科は、社会資本を持続可能にする土木・建築の分野において、基礎的知識と技術を身に付け、論理的思考能力を備えた実践的で創造性豊かな技術者を育成する。

また、専攻科における目指すべき人材像は、

得意とする専門分野を持つことに加え、他の技術分野の知識と能力を積極的に吸収し、自然環境との調和を図りながら持続可能な社会を有機的にデザインすることのできる知識と能力を身に付けた、国際社会で活躍できる実践的技術者

であり、生産システム工学専攻及び環境システム工学専攻の目的を以下のように設定している。

- (1) 生産システム工学専攻は、高等専門学校等で習得した基礎学力の基盤の上に、機械・設計関連、システム制御関連、電子・物性関連および情報・通信関連分野の知識を広く教授し、これらを有機的に統合した生産システムの設計並びに開発研究等を行うことのできる創造力を持った実践的技術者を育成する。
- (2) 環境システム工学専攻は、高等専門学校等で習得した基礎学力の基盤の上に、構造・材料関連、生物・化学関連、環境・分析関連および防災・都市システム関連分野の知識を広く教授し、これらを有機的に統合した環境システムの設計並びに開発研究等を行うことのできる創造力を持った実践的技術者を育成する。